

# 新型コロナワクチン3回目の追加接種について

11月19日現在の情報のため、変更となる場合があります。

国は、3回目のワクチン接種について、2回目の接種を終了した方のうち原則8カ月以上経過した方を対象に行うこととしており、本市では医療従事者等の接種を令和4年1月から開始する予定です。

3回目の接種に使用する接種券は、**2回目の接種後8カ月が経過する月の前月**に対象者に送付します。(例：令和3年5月に2回目を接種された方には12月に送付)

茂原市への転入前に2回目の接種をされた方など接種記録が確認できない方は接種券が届かない場合があります。**2回目の接種後8カ月が経過する月**になっても接種券が届かない場合は、健康管理課までお問い合わせください。

なお、1・2回目の接種予約は引き続き**長生郡市予防接種予約受付センター**で受け付けていますので、未接種の方はご検討ください。

新型コロナワクチン接種に関する問合せ **長生郡市予防接種予約受付センター ☎050 (3815) 4790**  
受付時間8時30分～17時 (土日・休日を含む)

問合せ **健康管理課 (2階) ☎(20) 1574 FAX(20) 1600**

## 市長が行く



茂原市長 田中豊彦

### ブースター接種

一昨年の今頃にはまだ世界をここまで震撼させるとは思われていなかった新型コロナウイルスによる感染は、2年たった今でもいまだに終息しておらず、ここへきてまた多くの国でブレイクスルー感染(ワクチン接種後に感染すること)が起きてきています。特に欧米、ロシア等で感染がひどく、日本においても3回目のワクチン接種(ブースター接種)が必要といわれるようになってきました。そのため、茂原市でも、医療従事者から順に、来年の1月から接種していく予定です。

皆様のご協力により、茂原市のワクチン2回接種者の数が、11月末までには対象者の約85%にまでなるため、都市部の方から、新たなウイルスの再拡大が起これない限り、少しは息をつけるのではないかとこのように思っています。日本においてなぜ急激にコロナ感染者が減少してきたのかというその理由については、これといった納得できるような回答が見出せませんが、一

部においていわれているのが、日本人特有の規律を守った行動、行動規範の遵守ではないかということ。日本人は皆きちんとマスクをすることを守り、コロナ感染者が減ってきたからといってすぐに外したりはしません。どこへ行っても、手指の消毒を欠かさず、さまざまな場所で体温を測定する装置が設置され、飲食店におけるパーティションなども工夫されています。

また、ワクチン接種についていえば、ファイザー社のワクチンは非常に取り扱いが難しく、デイベープリザーを使いマイナス70度で管理しなくてはならず、それから溶かして希釈して限られた時間内に接種することが求められます。一度開けてしまうと使い切らなければ無駄になってしまいますし、しかも1ビンで6人分という中途半端な数字なので、人数の調整にも大変苦慮する作業が伴います。モデルナ社のワクチンはマイナス20度での管理で、1ビンで10人分の接種が可能で、希釈

することもなく使用することができ、取り扱い上は便利なのですが、日本ではファイザー社製が先行したため、多くの国民はこのワクチンを打ってきています。この難しいワクチンの取り扱い方法においても、日本人はそれを製造元であるファイザー社の言う通りきちんと守ったので、ワクチンの有効性が高まったのではないかとこの意見もあります。

それにしても、3回目のワクチン接種となると接種後の副反応がひどかった方などは不安もあるでしょうし、今後の治療薬の開発をにらみ、接種を見合わせる人が出てくることも考えられます。一方で、現在の感染者数減少の要因は、2回のワクチン接種の効果なのだから、3回目のワクチン接種をすべきという考えもあります。できればこのまま第6波が来ることなく、新しい年を迎えられることを願ってやみません。

(11月15日執筆)

お知らせ

市では、広報紙の送付を希望される方に無料で郵送しています。  
問合せ 秘書広報課(3階) ☎(20)1512 FAX(20)1601